

新規就農者（鶏）を対象に当所鶏舎の見学及び情報交換会を開催しました

普及指導課では、農業の担い手育成支援事業として、県内の新規就農者（農業セミナー生）を対象に、定期的に巡回や集合で農業セミナーを実施しています。今年度は平飼いで養鶏を営んでいるセミナー生が多いことから、令和6年9月26日に、集合セミナーとして畜産技術センターの鶏舎（ケージ施設）の見学と情報交換会を実施しました。

研修を行うに際して、鶏舎に入る前にはワンウェイでのシャワーIN、シャワーOUTと当所の作業服、長靴への着替え・履き替え、消毒など衛生対策を行いました。鶏舎では、企画研究課の研究員が施設の説明をし、農業セミナー生は自農場とは異なる飼養形態のメリットやデメリット、衛生管理方法などを学ぶとともに、農業セミナー生からは研究員へ積極的に質問が寄せられました。その後の情報交換会では、各農場の紹介がありました。鶏舎の素材や形、周囲の環境、飼養鶏の種類やエサなど、同じ平飼い養鶏でも各農場の違いを実感しつつ、それぞれの農場が取り組む工夫に刺激を受けていました。また、現在の経営や今後の6次産業化に向けた話題など活発な意見交換の場となりました。

参加した農業セミナー生同士は初対面だったので、今回の集合セミナーを通して農業セミナー生同士、横のつながりを築くことができました。このような集合セミナーは仲間とのコミュニケーションやネットワークづくりを行う場としても有意義であり、農業者としての意識向上にもつながります。今後もこのような機会を設け、農業セミナー生を支援していきます。



鶏舎の外で説明を受けている様子1



鶏舎の外で説明を受けている様子2